

概要 2

分野別

農林業 3

商業、観光 . . . 4

就労環境 5

医療、福祉 . . . 6

交通 7

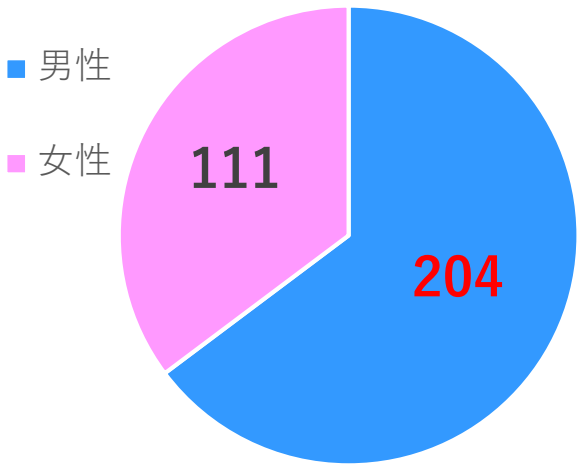
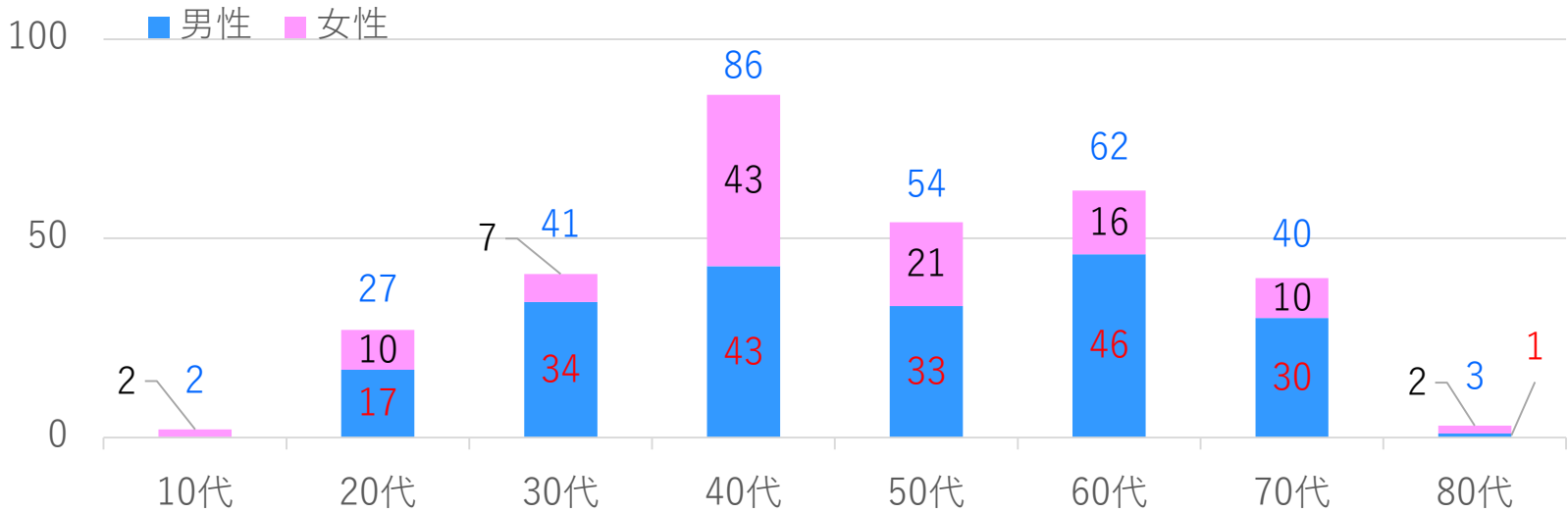
住まい、生活 . . . 8

コミュニティ . . . 9

たけたの未来を考える集い (市民ワークショップ)の結果【概要】



日時	対象地域	会場	班	参加者	総合政策課	管理職	計
R4.5.23(月) 19時～	宮城・城原	城原小学校 体育館	6	27	11	10	48
R4.5.24(火) 19時～	入田・姫岳・宮砥	祖峰小学校 体育館	7	35	10	8	53
R4.5.25(水) 19時～	荻	荻支所 多機能室（ホール）	9	43	9	7	59
R4.5.26(木) 19時～	竹田・岡本・明治・豊岡	総合社会福祉センター	11	59	10	12	81
R4.5.27(金) 19時～	直入	直入支所 大会議室	9	50	11	8	69
R4.5.28(土) 19時～	久住	久住公民館 機能回復訓練室	6	35	9	11	55
R4.5.29(日) 10時～	※市内全域	総合社会福祉センター	5	27	9	8	44
R4.5.29(日) 19時～	玉来・松本・菅生	グランツたけた キナーレ	8	39	11	14	64
計			61	315	80	78	473



	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	田畑が少しずつではあるが耕作放棄で荒れている 農業の後継者不足 農業の後継者がいない 米作りの農家が大変、生活が苦しい	後継者のいない高齢者世帯 高齢農業者 土地規模が小さい農家	耕作放棄地への対策 農業など教える人が居れば興味を示してくれる若い人がいるのでは 新しい作物等を作るための初期支援 鹿の角の再利用、商品化できない？ イノシシが多い⇒ジビエ料理 休耕田を子どもの遊び場的に（猪が踏みつぶすみたいに遊ぶ） 担い手の育成・確保 大規模農業法人の設立（働き場所と後継者の同時解決） 農業のDX（IT化）、ドローンを使った農業 学校跡地の校舎で野菜工場をつくる（照明、空調の有効利用）
近い将来	井出普請、道普請の人数が少ない 人手不足 農繁期になると草刈等で休日が取れない 耕作放棄地が多い 農林業の担い手が少ない 農作業が出来なくなる 地元の草刈りが出来ないところがある 小規模農家が売る場所が少ない	椎茸栽培者（重労働） 農業の機械代負担 農地の維持管理（高齢者） 農地の規模拡大（担い手） 森林間伐材の活用	営農集団をつくる 耕畜連携 地域産業の支援策の充実 草刈機の貸し出し 機械化農業 農業林業の近代化
10年以内	稲作はコメが安いのでどうなるか？ 牛舎が古いため維持が出来るか 耕作放棄地の拡大 農地の維持ができるか 農地山林の管理不足から自然災害発生 山や畑が荒れる 高原の維持ができなくなる 景観維持の難しさ、野焼きの維持が心配 水路、井路の管理（世話人の減少）	農作業を両親と行っているが10年後は？ 10年後、田んぼの水路の人手不足 農業をする人が少ない 土地を管理する人が減って動物がはびこる 野菜の生産量が減る 農業人材 猪や鹿の方が人間の数よりも遥かに多くなる	山、田、畑のヘルパー

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	竹田では買い物で揃わないものが多い お店がない（いろいろ買おうと思うと竹田へ） 買い物（近くに店なし） 買い物するところが少ない お店などの情報がネットにあまり載っていない 商店にお客さんが少ない 物価が高い お小遣いが少ない 久住商店メインストリートが活気がない	1 人身の買い物 高齢者の買い物	映画館をつくる ボーリング場 バエるおしゃれな店 子どもが寄り道して買い食いできるような場所 楽天のロボットを使った買い物配達（D X） 花火大会 移動販売法人の設立 大型ショッピングモールの誘致（イオンモール、コストコ） 岡城の天守閣建設
近い将来			荻にも菅生のような道の駅みたいな施設をつくる うどん屋をつくる 観光名所を増やす 映画館が欲しい 移動販売車を出す ラーメン街道をつくる そば街道をつくる 菅生地区に赤ちょうちん（飯屋）をつくる
10年以内	お店も更に減っている 店が遠いので買いためしても運ぶことができない 人口が減っていた場合、会社や店が少なくなる 個人商店がなくなる	買い物に行けない	竹田市街地活性化、お土産売場、名物品、食事処増やす 長湯温泉街を由布院のようにしてほしい 新しい商業、自由市（じゅういち）

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	働く選択肢が少ない 働く場所がない 企業がない 働き手がいらない 若者の働く場所がない 若い人が少ない（働ける人）		IT関係 リモートオフィス誘致 いつまでも働ける場所 年齢関係なく働ける仕事場 全国の成功事例（活性化）の情報収集 竹田の魅力を市外に発信 竹田の魅力とは何かについて本音トーク 企業誘致、音楽大学の誘致 独自の産業を生み出していく 学校跡地の活用法を考える リモートワーカー向けの施策 アマゾンと協定を結ぶ 受入れ地の造成
近い将来			今の学生が地元で仕事に就けるような工夫 外国から働く人を増やす 人を増やすため仕事を作る、大企業 税金を投入して人材確保 後継者の確保、Uターン 移住・定住若者への補助 中九州道が開通するはずなので企業を誘致する ドローン技術者が育つ学校 工場を誘致（働く場） 介護のまちとして雇用を生み出す
10年以内	若い人が少ない（働く場所）	働くところが減ってしまう 介護サービス事業所が減ってしまう 働く場所	企業誘致 テレワーク導入して 自然大学・自然学校⇒新しい形に 通信会社を誘致することでテレワークの充実を図る ⇒相乗効果で電波等の整備ができる

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	救急の病院 産科がなく出産が不安 総合病院がない	急病の時、近くに医院あれば 子育て世帯	後継者となるお医者さんに来てもらう 病院の統合と誘致 福祉施設の統合 産婦人科医を連れてくる 高級老人ホームをつくる
近い将来	病院が少ない 病院が近くにない 介護や医療の人材不足 病院への受診に困る	認知症の初期の人	健康増進に努め保険税に反映 介護のまちとして雇用を生み出す
10年以内	今までどおり健康管理ができているか 両親の高齢化による介護（仕事と両立できそうにない） 独居老人が増える？ 助け合いたくても自分も弱って余裕なくなる 介護サービスの不足 介護の施設があるかな 介護の必要ない世帯がほぼなくなる	介護サービス事業所が減ってしまう 荻に病院がなくなる 病院まで行けない	高齢者を助ける 温泉を活かしてリハビリしてもらう 温泉を使って未病 医療費控除

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	道が狭い 交通の便、手段が少ない 車が無いと移動手段に困る（通院、買い物） バス停が遠い 街灯が無く暗い、危ない 通院（交通機関少ない）病院に行きにくくなる 高齢者移動ができない（買い物、受診） 道路等の安全面、景観の維持 インフラ維持	子どもだけでは移動手段が少ない 子どもが通学すると費用が掛かる 子どもの移動、通学（遊び、高校など） 高齢者で免許のない方 地域住民 障がいのある方 20～30代 中高生とその親 バス運転手、タクシー運転手	乗合バス ドアtoドア（デマンド交通） 移動サービスの充実 低料金のタクシーや小型バスなどの移動手段の整備
近い将来	車の運転が出来なくなる 車なしではどこにも行けない（子ども、高齢者）		免許返納後の交通費の支給 乗り合わせOKのしくみ、ウーバー 無人運転の車を走らせる（シャトル便） 買い物自動運転で コミュニティバス（10人乗りワゴンで十分）を行きわたらせる
10年以内	狭い道は通れなくなっている バス停自体が無くなっているのでは バスの便が減っている 買い物に行けない 道路、橋が古くなり修繕の手が回らない タクシーがあるのかな 車がないと本当に生活できなくなる 免許証返納⇒移動が困る	車の運転ができなくなる 移動が困難となる 買い物に行くのが不便	移動手段の充実（規制緩和） 白タクの認可 ワークショップを定期的 to 開催

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	空き家が増える ゴミが重くてステーションに出せない 山や畑にポイ捨てが多い ホームページなどを見られなくて情報が届かない 公園があったらいい 年金だけでは暮らせない 自然災害のときの避難場所と避難ルート 竹田に来たくても住宅費が高い	高齢者調理ができない 高齢者年金が少ない、収入がない 災害時の外国人対応	空き家の活用しやすい環境づくり（お墓、仏壇） アメリカみたいに家の前にゴミを置けるようにする 買い物やゴミ捨てなどを代行するサービス 各曜日の朝にゴミ回収に回る収集車を回送させる 住宅をつくる タクシーで買い物したものを運んでもらう（注文して） 商品券（毎月10万） ボランティア、久住の自然を維持するためのボランティアを集める 学校にとらわれない学びの場づくり
近い将来	空き家が多くなっている 家が住めなくなっている 生活環境の荒廃 ゴミ出し（重い、遠い） 道路、水路の管理（飲料水も） 通信網が弱い（ネット、スマホ） ネットワーク回線がケーブルのみ	住居周囲の環境整備（高齢者）	都会の若者をホームステイ的なイベント 持ち主が居なくなった廃屋の家財道具とかオークションに出す 家の後継者を連れて帰ること 1人暮らしでも住み続けられるサポート 環境整備への行政の支援策 夏冬期の帰省者の支援（宿舎の確保） 散らばっている地域の人たちを集約する、住民の集約 光回線をとおす 複合施設をつくる、空き家のリメイク 災害に負けない環境の整備 移住者向けのニュータウン、海外からの移住者を増やす（ウクライナなど）
10年以内	廃屋だらけ、お墓の守りとか大変 生活環境の管理不可 山林の管理不足から自然災害の発生 実家のリフォーム 南海トラフ地震があるかも 空き家が増えて管理がない 支える人も支えられる人も高齢になり助け合いが難しくなる 景観維持の難しさ、久住高原野焼き 太陽光パネルが廃棄される 空き家が更に増える	家に住み続けられない人 竹田高校はあるのか	集合住宅 コンパクトシティ構想 市街地への移住 保養施設（長湯小をツーリズムの拠点に） カジノをつくる 若者が住む（大学・専門学校） いっそのこと定年退職者をターゲットにして戸建て住宅を整備 光回線導入のため市役所が国（デジタル庁）に働きかける 昔のような風通しの良い田舎（若者、子どもとの交流）

	困りごと	困っている人	考えられる対応策
今	地域運営（高齢化） 地域の伝統行事の断絶 学校に行けない子の居場所がない 娯楽施設 中高生が楽しめる場所がない 近所の人との付き合いが少ない（若者との交流） 学校が遠く通学時間がかかる	地域住民 相談相手のいない人 若者1人暮らし、高齢者1人暮らし 自治体全体（65歳以上） 学校が苦手な子 久住祭りの今後のあり方 近所が遠い（見守り）	タブレットの使い方を覚えてもらい皆が活用する 若者の意見を尊重して地域に活力を 地域の元気づくり交流会の開催 ジムを作る 自治会の統合をすすめる ＩＴを上手く活用、ＳＮＳを活性化 高齢者65歳以上全員にタブレットを配布する
近い将来	祭の伝統文化の衰退、祭りができない、神社の維持管理 後継者不足、地域活動を守れるか 人材の不足（超過疎化の進行） 自治会に入らない家、共同作業ができなくなる スポーツチームが作れない 出会いの場が少ない 男性の通いの場が少ない 町民が集まって盛り上がる行事が減っている 子どもが減っているので部活が減っている 自治会運営が難しい（役のなり手） 赤ちゃんが少ない（生まれない） 遊び相手がいない 集落が存続しなくなりそう	担い手人材の確保 自治会運営（高齢化） 子どものふれあいが少ない（スクールバス） パソコンが利用できない（ＳＮＳ） 10代20代の若者 人口が減少しコミュニティが存在できない ⇒そのまま変わらないと困りが増加！	若者が定住できる地域づくり 村おこしに対する助言、指導を 気軽に集まれる場所 出会いのイベント等を企画する 結婚、出産給付金を増す 回覧板をドローンで運ぶ 全戸にiPadを配りＩＴ化 交流する遊び場 おもてなし 久住ブランドのＰＲ法、地元が久住の魅力に気付く 中学生用の寮（平日は学校の傍から通学する） 若者向けイベントによる住民誘致 竹田高校に人材確保のため奨学金つきの案内を出す
10年以内	人が増える見込がないので現在できていることが出来ない 近所同士の付き合いが希薄になる（人口減少のため） 伝統行事の断絶（伝承者がいなくなる） 高齢化が進み人口減少（超高齢化） 魅力的な地域づくりができていくかどうか？ イベントが継続できない、スポーツ交流が困難 子どもに好かれる地域づくりができていくか 自治会運営困難（人材の不足） 荻小・緑中の存続、学校がなくなる 近くの子ども同士で遊べない、近くに遊ぶ子どもがいない ひとり暮らしが多くなる	若い人が居なくなる 子どもが3人いるが竹田に住む子がいるかどうか？ 自治会運営する人が限られる（なり手がいらない） 話し相手がいなくなる 学校が少なくなる、祖峰小が残っているか ジュニアスポーツ、神楽の存続 消防団員の減少 自治会が維持できない（班長も厳しい） 祭りの担い手の減少 市民球技選手 PTA運営	自治会の統合 役職の兼務